

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 10 月 30 日（木）

地区 進修小学校区

会場 宇治公民館

参加者数 23 人



《質問・意見》

市営宇治駐車場の運営について、それぞれの駐車箇所が一杯になった時点で他の箇所へ誘導しているが、そうすることにより出庫の時間が重なって渋滞を招いている。分散して入庫誘導すべき。そうすれば誘導員も少ない人数で済む。

《回答》【市長】

交通渋滞については、お力添えをいただいております、また御迷惑をお掛けしているところもあります。車の配置は結構むずかしいところがあって、色々なやり方を今まで試しながらやってきました。御意見を参考にさせていただきます。

《質問・意見》

進修小学校の裏にみゆきが丘という小さな公園があり、その上が竹やぶになっている。子どもたちが遊びに来るが、竹が管理されておらずガサガサとして落ちてくる。いつ落ちてくるかと思うくらいぶら下がっている竹もあって危険。市から管理を頼んでもらえないか。

《回答》【市長】

明日にでも対応します。

《回答》【環境生活部長】

明日現場を見させていただき、対応についてご連絡します。

<後日回答>【担当部局 環境生活部環境課】

みゆきが丘公園は、市の維持課の管理であるため、公園内に越境している枝の剪定及び竹林箇所の所有者確認を維持課に依頼しました。竹林については、市の管理地の場合にはすぐに対応できます。市の管理地でない場合には、市から地権者へ対処要請を行いますが、強制力が無く、また対応に日数がかかる見込みです。

《質問・意見》

宇治浦田駐車場について、有料駐車場になり電光掲示板とかガードマンを配置して運営しているが、収支はどうなっているか。また経費の総額と、あと何年くらいで設備投資した分がペイできるのか。

神宮の国旗掲揚台から高麗広方面に向かって 200mくらい行くと携帯電話が通じない。観光客が迷って入ってしまい途中で事故にあっても救急車を呼べないことがあるので、携帯電話が通じるような設備を国や県に要望していただいた方が防災上も良いと思う。

自治区対象の防災補助事業に発電機も補助対象としてほしい。

《回答》【市長】

1点目の駐車場の整備については、諸々で5億数千万円だったと記憶しています。御遷宮に向けての観光交通対策ということで出費をして、投資分を回収するまでに数年かかると思っています。国体に向けて競技場全体を改修するにあたり、あそこの駐車場スペースが多分来年から3年にわたって使えない状況が見込まれます。県にはきちんとしてほしいという話をしていますが、そうなったことの場合もあって、その予測見込みができていない状況です。わかり次第、報告もさせていただきたいと思っています。

2点目の高麗広の携帯電話については、関係課、関係者には話をしますが、自治会としても要望書を上げてもらえると動きやすいと考えます。

《質問・意見》

要望書はかなり前に上げてある。

《回答》【市長】

改めてよろしくをお願いします。

3点目の防災器具の補助金制度については今見直しをかけています。自主防災隊に対してはこれまで100万円であったものを200万円に上げようかと議論をしています。それが自治会、自治区も対象になるかは検討させてください。

《質問・意見》

宇治浦田の小坡美術館の下側、クロネコヤマト宅急便の裏に個人の土地があるが、そこからもう少し奥の方に急傾斜で大変危険な竹やぶがある。地主を含めての話になると思うが、法面の保護について市も調査をしてほしい。

高麗広から剣峠に抜けていく県道伊勢南勢線の道路が荒れている。スポット的には橋を架けてもらったりしているが、山の斜面から土砂が落ちてくる。自分も車で走っていてフロントガラスに石が落ちてきて割れたこともあった。現在も道の3分の1くらいが山の斜面からの土砂で埋まっている場所が何箇所かある。また山側の側溝が荒れていて水が流れないので雨が降るたびに水が道路面に溢れてくるような状況になっている。あまりにもひどい状況になっているので市をあげて県の方へ要望してほしい。

《回答》【市長】

急傾斜地の法面の件は、また現場を確認させていただきます。

高麗広の道の件は、現場も確認させていただいて県にしっかり要望させていただきたいと思っております。できれば自治会からも要望書を出していただきたい。

<後日回答>【担当部局 都市整備部監理課】

急傾斜地事業は都道府県で行うため、県に連絡しました。県を交えて現地立会を行ったところ、県が詳細に現地を見ることになりました。

《質問・意見》

駐車場を有料化する際に、1万人を超える反対の署名を提出したが、その結果についての連絡が無いまま新聞で有料化の話を知った。大変遺憾に思っている。

五十鈴川の河川敷駐車場から内宮に行く途中に何箇所か「内宮おはらいまち近道です」という看板がある。その看板を見て浦田橋を過ぎるとその次には「内宮おはらいまち歩行者順路」という看板が3箇所か4箇所ある。途中で何箇所かおはらいまちに通じる通路があるにもかかわらず、順路と示されている。交通緩和、渋滞緩和の観点からは良いかもしれないが、排水路の蓋がしてあるところがあったり、その右側には土の道があったりする。舗装をするなどの整備をするべき。対岸は草が生い茂った状態だし、川には魚が全然いない。県と相談して魚が住めるような川になるよう検討いただきたい。歩いていただくのにかなり距離が長いから通路の舗装、花壇の設置とか、もっと気持ちよく楽しみながら歩いていただけるような整備をお願いしたい。

《回答》【市長】

1点目の駐車場有料化の返事ができていなかったことは申し訳ありません。確かに役所の要望は遅かったりすることがあるので、今後そういうことが無いように徹底させていただきます。

2点目の五十鈴川の提案は素晴らしいと思いますので、こういった形が良いのか我々も考えていきますが、また皆さん方の中からもプランニングをしていただくと非常にありがたいと思います。

《質問・意見》

ここを通れという標識になっている。そうであるならば、気持ちよく通れるようなものにした方が良いでしょう。

《回答》【市長】

わかりました。

《質問・意見》

今在家町会で防災マップを作り、宇治橋前の駐車場あたりを集合場所、第一次避難場所

にしている。裏の神宮さんの山が崩れてくるという可能性もあるということで、観光客も含めて皆さんを誘導するのに、本当にここが安全なのかどうかということ判断するのは、我々の知識ではむずかしい。下の地質はどうなっているのかと言えるぐらいの、少し掘り下げた情報をいただければありがたい。防災担当部署の方で査定をしていただきたい。

別途お願いしていることだが、高麗広へ通じる道は一本しか無いので、一旦崩れると交通が遮断される。急病人が出たときはヘリコプターしか手段は無いと思う。緊急を要する場合の搬送手段であるヘリコプターの対応ができる場所を高麗広地区に確保いただきたいという思いがある。ここは水や食料もあり、津波の心配も無い恵まれたところであると思っているが、急病人、けが人にとっては搬送手段だけが心配である。

《回答》【市長】

ある程度のものは町会でも作っていただいて、それを市がどこをどうやってしていけばいいのか、御相談をさせていただければと思う。

《意見》

先程の交通渋滞の件で、志摩方面から浦田交差点に進入してくる際の情報が無い。地元の人々の理解を得なければいけないが、陸上競技場からもう1本御側橋を通過して迂回する道があれば交通渋滞がかなり緩和されると思っている。ぜひ国体に向けてそのあたりの交通施策も頭に置いていただきたい。

《質問・意見》

御木本道路は歩道も狭く、ガードレールも無い。観光客も結構通っているところから1メートルも離れていないところを車やバスが時速60キロくらいで通ったりしていて非常に危ない。千寿台団地に住んでいるが、来年息子がそこから進修小学校まで通う。その道を毎日通らなければいけないが、ガードレールなり歩道を広げるなり、何かしていただけないか。

《回答》【市長】

外宮さんから内宮さんまでの間で歩道がきちんと整備されていないところがあるので、道路管理者の県に直接要望させていただいています。現在、外宮さんから内宮さんの間で県の事業で中断している部分があります。県道拡幅の当初の計画からいくと50%くらいしか進んでいない状況なので、事業を再開してほしいという話をしています。そういったことが後押しになると考えます。

《質問・意見》

まだきちっとした図面は無いとのことだが、三重国体に併せて、御側橋の横に片側2車線の広い橋を架けるとい話を聞いている。先程、浦田町の交差点の渋滞の話もあったが

半分以上は解決されるだろう。私たち町会の者が県に詳しい図面を見せてほしいとは言えないので、市の方でわかり次第、文面で情報を提供していただきたい。

《回答》【市長】

ある程度図面は出来上がっていると思いますので、市からどこまで出せるのか県にも相談させていただいて、連絡させていただくようにします。

《質問・意見》

御幸道路の石灯籠の撤去について進捗状況を教えていただきたい。主体はどこなのか。

《回答》【市長】

市道、県道、国道があって、その道路の管理者の責任においてやっています。まずは地震が起こった時に、耐震性に問題があるもの、緊急性があるものを先に動かしたという背景があります。

《質問・意見》

五十鈴川駅から内宮に歩いていかれる観光客が結構いる。石灯籠は伊勢の観光のシンボルだったかもわからないが、今、あれだけ老朽化してくると大地震が来たらおそらく壊れる。現実、上が落ちているものもあるし、倒れ掛かっているものもある。今現在の進捗状況とこれからどういう形でこの事業を進めていくのか、教えてほしい。

《回答》【市長】

現状としては、県と国と市で連絡調整しながら、まずは安全確保をどのようにしてくか協議を進めさせていただいています。その中で、こういった順番でやっていくのかということを検討させていただいている最中です。

《質問・意見》

まだ検討中か。

《回答》【市長】

そうです。いずれにしてもまずは安全を確保していきます。そして撤去をしていくのか、建て直すのかということも含めて、三者で協議を進めさせていただいています。

《質問・意見》

いつ頃、回答というか、次に進むのか。

《回答》【市長】

また協議会の状況を確認して連絡させていただきます。

<後日回答> 【担当部局 都市整備部監理課】

現在、有識者等のメンバーで構成されている「伊勢市内道路区間利用のあり方懇談会」と国、県、市の道路管理者間のメンバーで構成されている3者協議の両方で議論しておりますが、結論を出す目標年次は決まっておりません。

今後は進修小学校区の進修まちづくりの会を通じて地元の意見を伺う機会もあると思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

《意見》

朝日町の女子中学生の事件があったのと同じようなことで、遠いところから進修小学校に通学している児童がいる。月読宮付近について県道側はまだ明るいですが、国道側の宮脇書店から五十鈴川駅のあたり、月読宮の裏は草が生い茂っていて、なおかつ街灯が全く無い状態である。山崎病院周辺に住んでみえる児童・生徒が、通学するのに大変怖いという話がある。学校も要望しているようであるが、冬場の夕刻などは暗いので、クラブの帰りなど夜の通学路の明るさの調査をやっていただいて、危険と思われるところには防犯灯をなるべくたくさん設置していただくような方向で考えていただきたい。

《質問・意見》

観光について、遷宮が終わってから次の遷宮になるまでにかかなり落ち込みがある。今後の取組として伊勢まるごと博物館構想をもっとPRしていくのが良いのかなと思っている。パンフレットの中身を見せていただくと観光スポットを網羅している。ネットワークを組んで回遊できるような取組ができているのか。ただ単に字面であって実際には機能していないのではないのかという思いがある。これがインターネットで紹介されているのかどうか。今の若い人はインターネットで調べて観光に来る人が多いので、こういったものは全てネットに出すというのが重要だと思う。

《回答》【市長】

まるごと博物館は、紙ベースでも配っていますが、配りきれっていないかもしれません。インターネットはグーグルマップで全部落とし込みしてあります。携帯と連動させれば、もっと面白いことができるかもしれないと思っています。

《意見》

観光客の入込をGPSで見ると日帰りが6割という話であるが、例えば公共交通機関を利用した観光客の方の歩留まりまで見られるのではないか。ツーリストとタイアップすると良いと思うので検討してほしい。

先程防災マップを作られるという話があったが、私どももこれからまちづくり協議会で、各自治区単位で防災マップを作る予定で、危険箇所を回ろうと思っている。先程、良い提案をしていただいたと思っている。これから11月から12月頃にかけてそれぞれの自治区

が動いてタウンウォッチングをやる。危険箇所とか、ここは安全な道路で避難所まで避難できるとか。出来た段階で、危機管理課から色々なアイデアを頂戴したいと思っている。

《質問・意見》

昨年バリアフリー観光で車椅子対応のトイレが増やせないかという事業と一緒に取り組ませていただいたが、お店の中で増やしていくのがむずかしい状況が現実的にあった。足りないのが現実なので、トイレを含む多機能の拠点が絶対必要である。キャパシティを超えたときに我慢できない方が路地で用を足さざるを得ないなどは生活環境の悪化につながるし、子ども達の教育の問題も出てくると思う。バリアフリーのトイレがあっても遠かったら役に立たないので、その点は検討いただきたい。

観光客の帰宅困難者について、以前計算したときに内宮の参拝客の10%が最大の滞留人数と出ているので、1万人の場合1,000人が帰宅困難となり、2,726人の住民にとっても大変なことになる。そこで働いている人を加えるとその2倍くらいになり、その中で帰宅困難者の避難所対策をしていかなければならないという現実が見えている。マイナス面ばかりでなく、そこに人がいるということは人の力があるというふうには理解している。そういうコミュニティができるような準備を進めていくための援助をお願いしたい。

昨年この場で市が締結している防災協定の話をしたところ、その後一覧を送っていただくということだった。ホームページで去年の懇談会の結果を見たら「お送りいたしました」と出ていたが、私のところには届いていない。多分違うところに届けられたと思うので、改めて私の元へ届けていただきたい。

おはらいまち通りについて、お白石持行事の前に修繕いただいたが、かなりガタガタした状態になっている。特に赤福本店から内宮さん方面の箇所について、今日帰られるときに確認いただければと思う。10月8日にデコボコで怪我をされて救急車で運ばれた方もあった。市から道路管理者の県につなげていただいたので、その場所に関しては即日修繕していただいた。これから正月に向けてそんなことがあっては大変なことになるので点検をお願いしたい。

平成22年に実施いただいた将来人口推計について、地区別が中学校区になっている。せっかく地区みらい会議が小学校区で活動しているので、できれば小学校区で整理をしていただきたい。

《回答》【市長】

すぐにします。

防災のことや携帯電話のこと等、様々な御意見をいただきました。少しずつですが来年度反映できるものは反映して、また県や国に関連するものは直ぐ簡単にできるものではないので少し時間がかかるかもしれませんが、こつこつと前を向いて協議を進めていくのでよろしく願います。またそれぞれいただいたお返事が遅くなったり、放ったらかしになったりしないよう、職員みんなできちんとお返事させていただきますので、よろしく願います。本日はありがとうございました。